

自分たちの避難行動タイムラインを計画・確認しよう

「避難」とは「難」を「避」けること。
 安全な場所にいる方は、避難所に行く必要はありません。
 避難先は避難所・避難場所とは限りません。
 これまでの常識にとらわれず、「分散避難」にご協力ください



警戒レベル 1

早期注意情報

- 気象情報**
- ・台風接近の予報
 - ・気象庁の呼びかけ・事前対策を報道

警戒レベル 2

大雨注意報・洪水注意報

- 気象情報**
- ・交通機関の計画運休を報道
 - ・「大雨注意報」が発表

垂直避難

急激な雨で移動できない、水の流れて足元が見えない
→在宅避難、垂直避難（自宅や近くの建物の上層階など）
 ※市では、一時的に避難する「指定緊急避難場所」（P.2~3）を指定

水平避難

洪水の危険があるとわかった段階で、早めの避難
→分散避難（車両避難、縁故避難など）
→分散避難が難しい場合は、風水害時の指定避難所へ避難（P.2~3）
 ※健康状態や避難所の混雑状況などを確認してから避難してください。

警戒レベル 3

避難準備 高齢者等避難開始

- ・氾濫警戒情報
- ・大雨警報（土砂災害）

警戒レベル 4

避難勧告 避難指示（緊急）

- ・氾濫危険情報
- ・土砂災害警戒情報

警戒レベル 5

災害発生

- ・氾濫発生情報
- ・大雨特別警報（土砂災害）

雨が強くなる前に避難（前日~2、3日前）

避難行動を開始（前日~当日）

身の安全を確保

2人以上の
家族の場合

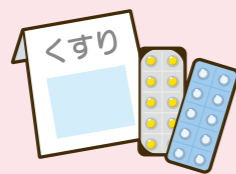
- ・家族と避難方法を確認
- ・会社、保育園等の対応を確認
- ・備蓄品の確認

- ・持出品の最終確認（子どものおもちゃなど）
- ・大事なものを2階へ上げる
- ・避難の前に、ブレーカーやガスの元栓を閉める
- ・携帯や携帯用充電器を充電しておく
- ・物干し竿をしまう



一人暮らしの
高齢者の場合

- ・常備薬を確認
- ・家族や地域の支援者等と避難手段やタイミングを確認



- ・動きやすい服装を準備
- ・感染症対策を踏まえた持出品を準備
- ・必要に応じて移動手段を検討（徒歩または公共交通機関で早めに避難）

ペットを飼って
いる方の場合

- ・ペットの預け先を確認
- ・ケージの準備
- ・ペット用備蓄品の確認
- ・親戚の家へ連絡
- ※ホテルの予約なども検討

- ・ペットをペットホテルや親戚の家に預ける
- ・親戚の家やホテルなどの避難先に移動する
- ・テレビやインターネットで避難情報を確認



どれかの避難方法を選択

車両避難

市の指定する車両避難場所や、安全な場所で車中泊での避難。

※避難中に道路冠水や崩落などで亡くなるケースが増加していますので、車での避難も早めに行いましょう。
 車中泊の場合は「エコノミークラス症候群※」に注意！

※エコノミークラス症候群は、せまい場所で長時間かないことで血行不良となる状態。こまめな水分と適度に体を動かして対策しましょう。

縁故避難

安全な場所に住む親戚の家や知人宅へ避難。ホテルへの避難もご検討ください。



在宅避難

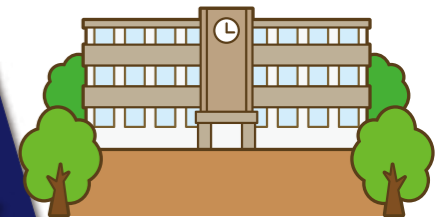
安全な場所に住んでいる場合は、住み慣れた自宅で過ごしましょう。市などからの防災情報をこまめにチェックし、危険性が高まった場合は上層階へ避難しましょう（垂直避難）



水平避難

水平避難

指定避難所へ避難



事前に開設避難場所や開設時間などを確認し、感染症対策をして早めに避難をしましょう。

※避難所への移動の際は、徒歩または公共交通機関を利用。ペットはケージに入れて避難

命を守ることを最優先に避難所運営をしています。

避難所では避難者同士の配慮や思いやりが大切です。

子どもも避難先がないとき